

# 古川なおき レポート

第151号

2021年6月20日発行



## グリーン(脱炭素)とデジタル化で成長へ!

古川なおきです!4月に自民党衆議院神奈川6区(保土ヶ谷区・旭区)の支部長に就任してから早3ヶ月が経とうとしています。旭区で横浜市議員を7期・26年間務めさせていただき、地域の声を政策や条例にして議会で実現し、早朝の駅頭では学生ボランティアの方々と活動を続けてきました。今後は今まで以上に保土ヶ谷区・旭区での活動に力を入れてまいりますので、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



### ワクチン接種の早期完了

新型コロナウイルスの蔓延に対する最も効果的な対策は、ワクチン接種を、希望するすべての方にいち早く接種していただくことです。欧米では、感染者や死亡者が大変多く、日本では考えられないほど強い私権制限のある「ロックダウン」を頻繁に行いましたが、なかなか改善しませんでした。しかし、ワクチン接種が進んだことで、状況が様変わりしています。今や外出も

職場勤務もマスクの着用も、コロナ以前の状況に戻っている場所が多くなっているようです。

高齢者への接種を着実に進めるとともに、今後、基礎疾患を持っている方や高齢者施設の勤務者を優先しつつ、職域や大学での接種を進め、10~11月には、すべての年齢の方々にワクチン接種を行っていただけるよう、全力で取り組んでまいります。

### グリーン社会とデジタル化の推進

この6月18日に、政府は2021年の「骨太の方針」を閣議決定しました。「骨太の方針」は、来年度予算編成の骨格を決める、政府にとっては一年で最も重要な方針の一つです。

菅総理は就任以来、「縦割り打破」を旗印に、デジタル庁の創設や、子ども施策の強化など、省庁横断的な政策に力を入れてきました。さらに携帯電話料金の値下げや不妊治療への助成拡充など今までの内閣ができなかった政策を着実に実現しています。「骨太の方針」で

は、これらの改革をさらに進め、今後1年間の政策を「面」の形で示したものです。

その中で「4つの原動力」とされたのが、①「グリーン社会の実現」、②「官民挙げたデジタル化の加速」、③「活力ある地方創り」、④「子供を産み育てやすい社会の実現」です。私たちの地元横浜選出の菅義偉総理が、総理就任後初めて自らの手で決定する「骨太の方針」です。菅総理の思いや政策への考え方が詰まった、とても力強い方針となりました。



自民党

## グリーン化が、初めて最重点政策に

気候変動の影響による大規模風水害は年々激しさを増しています。日本は「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2030年温室効果ガス排出削減目標を2013年度比46%減という野心的な目標を設定しました。その目標を実現するために、ついに環境政策が日本の最重要政策に位置付けられたのです。

グリーン施策を成長戦略ととらえ、民間投資やイノベーションの喚起につなげていく、という考え方がとても大事です。菅総理は、2021年度予算編成過程で、新しく設けられた「グリーンイノベーション基金事業」について、当初事務方が1兆円規模の案を作ってきたところ、総理の決断で2兆円に上乘せされた、とされています。

菅総理の並々ならぬ思いを感じます。

横浜は「環境×民間投資」、「環境×イノベーション」になじむ土地柄だと思います。政府の後押しもある今だからこそ、地元企業の皆さまにもぜひ奮起して、グリーン化対応を進めていただくことをご検討いただきたいと思います。

私も、横浜市議員として「横浜市脱炭素推進条例」原案を作成し、現在も横浜市会の仲間と検討を進めています。自民党横浜市連は、行政が取り入れるよりも早くSDGsを提唱し、また横浜市も、温暖化対策で全国の自治体をリードしてきました。そういった経験も最大限に活かし、我が国が世界の脱炭素を主導できるよう全力で取り組みます。

## 「デジタル庁」の発足でDXを一気に進める

菅総理は、昨年9月の自民党総裁選で初めてデジタル庁の構想を明らかにしてから、1年未満で発足を実現しました。冷静に考えても、これは非常に大きな成果です。これにより、たとえば医療・介護、教育、インフラ、防災に係るデータ・プラットフォームの整備や、行政手続きのデジタル化の徹底など、私たちの生活の利便性が飛躍的に向上する効果が期待できます。

またデジタル庁の発足で、民間企業のデジタル化・DX化の推進も期待されます。DXの基盤となる5Gインフラ普及の加速や、中小企業も含めた非対面型ビジネスモデルへの変革、新産業モデルの創出を促すことにしています。金融、物流、サプライチェーンの効率化も進み、チャンスは広がるばかりです。

## 保土ヶ谷区・旭区の皆さんと一緒に

社会の変化は目まぐるしく、政府も次々と有効な政策を打っています。これらの流れをリアルタイムで捉え、地元の課題を漏れなく国政に届けるとともに、国の政策も遅滞なく地元へ伝える。私はそんな市民の皆さんとの対話を大事に活動していきたいと思っています。政府・与党の一員として、保土ヶ谷区・旭区の皆さんとともに、ピンチをチャンスと捉え、希望ある未来の実現に向けて、全力で頑張ります！

### 古川なおきプロフィール

- ・1968年8月31日「野菜の日」生まれ
- ・希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- ・横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市議員26歳最年少当選（現在7期目）
- ・自民党横浜市議団団長、政務調査会長を歴任
- ・2021年4月 自民党衆議院神奈川6区支部長に就任
- ・希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事
- ・旭区サッカー協会 顧問／旭区卓球協会 顧問
- ・旭区スポーツダンス協会 顧問
- ・旭区剣道連盟 顧問／旭区食品衛生協会 顧問
- ・2018年横浜マラソン完走（5時間8分）

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1  
TEL : 045-391-4000  
FAX : 045-366-9700  
E-mail : jm@furukawa2002.com



ホームページ



ブログ